

令和２年度 第１回大和市文化芸術振興審議会【書面開催】 会議要旨

- １．日 時 令和２年７月６日（月）
- ２．場 所 書面開催
- ３．出席状況 委 員 １０名（深澤会長、鎌田委員、小林委員、鈴木委員、中島委員、橋本委員、服部委員、伏見委員、吉川委員、米屋委員）
事務局 ６名（文化スポーツ部長、文化振興課長、文化振興係４名）
- ４．傍聴人 書面開催のため傍聴なし
- ５．議 題
 - １ 令和元年度事業実施報告について（報告）
 - ２ 令和元年度やまと芸術文化ホールの運営状況について（報告）
 - ３ 新型コロナウイルス感染症に係るやまと芸術文化ホールの対応について（報告）
 - ４ その他
- ６．会議資料
 - 資料１ 令和元年度事業実施報告について
 - 資料２－１ 令和元年度やまと芸術文化ホールの運営状況について
 - 資料２－２ 令和元年度やまと芸術文化ホールの運営状況について
 - 資料３ 新型コロナウイルス感染症に係るやまと芸術文化ホールの対応について

【会議要旨】

１ 令和元年度事業実施報告について（報告）

【意見】

- 多くの施設の整備により、文化意識の機運の醸成が高まりつつある中で、大和市は文化芸術振興基本計画に掲げる目標を達成するため、指定管理者、文化芸術団体などと連携し、多くの事業に取り組み、成果を上げている。
新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部の事業が中止となり、入場者数が出ていないが、公募展等における出品数減は高齢化が進み、地域の施設充実するほど全体の出品数が少なくなる傾向がある気がするので、引き続き様子を見ていく必要がある。
- 施策目標ごとの取り組み実績については、新型コロナウイルスの感染拡大防止策の一環として中止及び延期の措置を行った結果、その数値が昨年度を下回るのはやむを得ないものとする。
- 「文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合」について、市が主導して改善することにより、目につきづらい名人を表に出す、すなわち文化芸術顕彰の改善により数字が上がると思われる。
- 新型コロナウイルスの感染拡大が予想され、その防止のために様々な企画を開催中止にせざるを得なかった。しかし中止以前、実績は着実に上げてきていた、と言える。
施策目標１で、「文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合」の上昇は特記すべきである。
施策目標２臨時休館による利用者数の減少は仕方のないことであろう。しかし恐らく令和２年に向けてはオープンエアーでの企画、「三密」を避けた新しい大和市らしい企画を準備する必要があると思う。特に「埋蔵文化財の調査」は、時宜を逸してしまうといけけないので力を入れても良いと思う。

施策目標 3 は、学校も休校になったので対応が難しいというのにオンラインでの授業も行われ、対話の重要性が再確認されると思うが方法を再検討する必要があるかもしれない。ただ令和元年度については実績を上げていたと思う。

施策目標 4 も実績を上げていたと思われる。「大和文化百花プロジェクト」の成果が期待される。施策目標 5 については「大和文化百花」が実績を上げていた。新型コロナウイルスとの共生をもとめる現状では情報を得る手段も更に変化し参加人数も変わるのでそれに対応することが求められる。

施策目標 6 現実に国際的交流活動は難しいので、大和市在住の外国人との交流を深めるべきであろう。令和 2 年度は目標値の設定を再検討すべきであるし今までの目標値に固執しすぎない方がよい。或いは目標値を新たに設定してもよいと思う。

○新型コロナウイルスの文化振興への影響は大きい、このような時だからこそ、心の癒しの必要性を感じる。

○第 3 期計画の計画期間 1 年目として、進捗は概ね順調であると考ええる。

○施策目標 1 について、シリウスへの市民の大きな期待を伺える。

施策目標 2 および 3 の評価、課題と対応状況について、「施設の P R と魅力ある事業の実施」「手法の検討」という表記に期待している。今までの手法はもう限界に近付いているように思う。施設や学校で一律に行う事業にとらわれず、学習センターなどで来館者がついでに見られる企画などを実施するのはどうか。

施策目標 4 および 5 「大和文化百花」について、今の中学生頃の年代は紙媒体のものには反応しないと中学校の先生が言っていた。これからはアンケート回収も SNS 活用が中心になるだろう。そのような折に「大和文化百花」のように SNS を活用し、市民と繋がりを持つサイトを整えられたことを評価する。市民の声に耳を傾け、より良い文化振興が図られることを願う。

○新型コロナウイルスの影響が多少出たものの、市民に関わることができるイベントの参加者数や、作品数が減少していないので、とても良い。

子どもが関わるものでも、来場者数や参加生徒数、参加園数などの実績が上がっているものが多い。未来をつくる子どもに関するものなので、喜ばしい。

やまと芸術文化ホールの「友の会」については、順調に人数が増えており、今後の運営のことを考えると、良い傾向にある。

【質問】

○施策目標 6 について、「光明市をはじめとする」とあるが、特別なつながりがあるのか。

△事務局

大韓民国京畿道光明市は、日韓両国の相互理解と友情を深め、平和友好関係の発展に寄与するため、平成 21 年 11 月に友好都市連携を締結して以降、相互の文化交流を始めとする交流事業を実施しています。

○モニタリング項目の中で「R 1」に数値が入っていないところは、もともとモニタリング調査を予定していなかったのか、新型コロナウイルスの影響で把握できなかったのか。

△事務局

モニタリング項目のうち、「総合計画に関する市民意識調査」および「文化・芸術に関する市民アンケート調査」で測定するものは、毎年度実施をしております。

令和 3 年度および令和 5 年度にそれぞれ調査を実施予定です。

2 令和元年度やまと芸術文化ホールの運営状況について（報告）

【意見】

- やまと芸術文化ホールは多種多様に利用され、稼働率も高く、文化の拠点施設の役割を果たしていると思われる。今後は、価値観の多様化、国際化、芸術文化のネット配信化など複雑で多様なニーズに応えられる環境づくりが必要である。
神奈川県中央に位置し、交通の利便性も高いことから、全国に誇れる文化都市として、市民が丸となって構築し、次代を担う若い世代に残すことが大切である。
- 貸館利用件数、利用者数、稼働率等において、着実に実績をあげ、数値及び内容ともに充実していただけない、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の中止、臨時休館があり、残念である。
- 多くの利用があることは結構だが、行政としてビジネス・マインドを持って、財政に過度な負担のないよう努力を続けていただきたい。
- 令和2年3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のためホールを閉めざるを得なかったことで稼働率や利用者数が下降したのは致し方ない。現在の状況は、7月1日から制限付きで利用再開をしているが、稼働率、利用者が元に戻ることはばかり考えずに、慌てずに着実に実践すべきであると思う。
まず考えるべきことは「安心・安全」であろう。令和元年12月までの実績を誇っても良いのではない。量的なものより質的な深化を目指しても良いと思う。
- あらゆる年代の人々へ多岐にわたるコンサート等の提供、高い稼働率は素晴らしい。この5年間の指定管理者の運営、接客対応等を拝見しているが、開館以降行き届いた運営できていて良かった。
- 細やかな目配りのもと、多くの人々の心をつかむ事業が進められていることに感謝する。実際に事業を観覧したが、報告どおりの雰囲気であったと感じている。「おでかけコンサート」も素敵な企画であると思う。
貸館利用件数の内訳について、やまと芸術文化ホールは文化芸術施設なので、講演会や式典の利用が増え過ぎることは好ましくない。
- 依然として稼働率は高い数字を維持している。利用者の立場からすると、イベント等が休日に集中してしまうので、抽選倍率が高いのは苦しいところである。
- 多様な事業が行われており、運営状況に特別課題はなかったと思うが、今後は新型コロナウイルスの影響で予想がつかない。慎重に無理のない運営をしていって欲しい。

【質問】

- ・ 特になし

3 新型コロナウイルス感染症に係るやまと芸術文化ホールの対応について（報告）

【意見】

- 市民の安全安心を第一に考えた対応で妥当であった。
- 今回の新型コロナウイルスに限らず、アレルギーなどで咳き込む人もいる。そういった方への対応や、考え得るあらゆる事故事件への対応を、主催者との共通データベースを作るなどして、マナーに頼るのではなく、契約事項として実施することが良いと思われる。
- 国や県の状況を勘案しながら、7月1日からのやまと芸術文化ホール再開について異議はない。
指定管理者が大きな役割を担うので連絡を密にしていきたい。
- 職員の苦労を思いながら拝見した。
- やまと芸術文化ホールの運営側から考えると、定員の制限が続くようであれば、興業の採算が合

うのか、心配である。クラシックコンサートは基本的に客席での私語はないので、観客の立場では不便な点はないように思う。

○新型コロナウイルス対策には、人員増が必要な局面もある。貸館運営の際は、特に注意を要する。専門知識のないアマチュアグループが利用する際には、十分な指導が必要だろう。

【質問】

・特になし

4 その他

- 再開後の記録を残してほしい。特に新しい独自のプロジェクトに関して
- シリウスは図書館もあるので、座席、机、通路などの空間設定を検討すべきであろう。
- ホールでの人の動線の検討をする。緊急時は別として、入口、出口等ある方向を指定しても良いのではないか。
- 子供の広場、遊戯施設、会議室、休憩場所等、大和市独自の感染拡大防止のための利用制限をしても良いと思う。